

今年度の大学生に対する求人倍率（求人件数／求職者数）は一・六一倍で、昨年の一・二八倍を大きく上回っています。特に建設業はバブル期に近い状況で大幅に上昇し、また機械電気の製造業関係も増加しています。バブル以降、「就職氷河期」が長く続いたため、今年ほど学生の就職に『運』というものを感じた年はありません。

本学では、各自の適性にあつた企業へ全学生が就職できるよう「就職指導委員会」と「就職課」を設け、全学を挙げて就職支援に取り組んできました。このため好不況にかかわらず毎年就職率は全国平均を上回り二〇〇八年には全大学中第二位となりました。本年度開設された看護学部の学生に対しても現体制の中で就職支援を行うこととしていますが、別途看護学部内に

本学の就職支援



工學部就職指導委員長

国家試験対策委員会を設置し、国家資格取得のための支援体制を整え、就職指導に万全を期しています。今年三月の卒業生の就職率は九二・一%で前年の八二・九%を大きく上回りました。これは、経済の好転が最大の要因と思われますが、そのほかに職業指導科目による就職指導の徹底、および本学独自の就職支援が大きく寄与したと思っています。

「面接試験」、「面接試験」対策など指導教員がきめ細かな職業指導を行っています。また、本学独自の就職支援として毎年二月、三年生を対象に「学内企業セミナー」を開催しています。長い間本学の学生を採用している企業約三〇〇社の人事担当者を招待し、学生との面談の機会を設けています。この催しは本学就職支援の最大のイベントとなつており、これら企業に毎年約五割の学生が就職しています。

近頃の大学生は、せつかく就職しても、三年経つと三割の人が辞めてしまふと云われています。大変残念なことと云わざるをえません。辞めるとの結論を出す前に、与えられた状況の中でもう一度精魂を傾け仕事に向き合つていってほしいと思います。努力を続けるうちに、与えられた仕事がいつか天与の職となり、一生全うするに値する仕事となるに違いありません。これから社会を担つてゆく学生にはそのような職業観をもたせることが必要でありそれも本委員会の重要な使命と考えています。

以上、本学では全学を挙げて就職支援を行い、内定率アップを図つてまいりま

特色ある看護学教育を目指して



看護學部教務委員長

かれましてはご理解賜ります
すよう宜しくお願ひ申し上
げます

げます

平成二十六年四月から、足利工業大学に新たな学部として看護学部看護学科が開設されました。県内の行政機関をはじめとする多くの関係施設の皆様方からのご尽力によるものと、心より感謝申し上げます。

今年度は八十三名の学生が入学致しました。開設から四ヶ月、学生達はそれぞれの四年後の看護師像を描きながら、大前と本城の二つのキャンパスで学習を進めています。

本学部は「調和の精神と看護専門職としての倫理観を持ち、社会に貢献できる人材を養成すること」を目的とし、五つの教育目標を設定して教育活動を展開しております。まずは、人間を総合的にとらえ、高い倫理観をもつて調和のとれた人間関係を築けることです。

看護学部では、これらの課題を教育目標の骨子とし、四年間、全教員が力を合わせて学生支援に当たりたいと考えております。

従来から、就職課が主導する形での「インターンシップ」です。学科統一の授業科目としてスタートしたのは、昨年度が初めてになります。ただ、授業科目として位置付けてはみたものの、実際の指導は就職課に依存する部分が多く過ぎるという反省点も明らかになりました。今年度は学系毎に担当教員を明確にし、事前事後の指導を含め教員がより直接的に学生の指導に関与することを教務委員会で申し合わせました。また、そのための具体的な指導手順を定め、今年度の「インターンシップ」を進めているところです。

さらに、毎年十二月に実施しているFDシンポジウム（大学主催の教員研修）においても、昨年度はキャリア教育をテーマとして取り上げました。午前の部は、キャリア指導の外部講師を務めていた大河内先生に、「キャリア教育とキャリア支援」との演題で基調講演を行つていただきました。午後の部は現状報告をしていただきました。午後の部は分科会形式とし、設定

今年度の大学生に対する求人倍率（求人数／求職者数）は一・六一倍で、昨年の一・二八倍を大きく上回っています。特に建設業はバブル期に近い状況で大幅に上昇し、また機械電気の製造業関係も増加しています。バブル以降、「就職氷河期」が長く続いたため、今年ほど学生の就職に「運」というものを感じた年はありません。

本学では、各自の適性にあつた企業へ全学生が就職できるよう「就職指導委員会」と「就職課」を設け、全学を挙げて就職支援に取り組んできました。このため好不況にかかわらず毎年就職率は全国平均を上回り、二〇〇八年には全大学中第二位となりました。本年度開設された看護学部の学生に対しても現体制の中で就職支援を行うこととしていますが、別途看護学部内に

さらに、毎年十二月に実施しているFDシンポジウム（大学主催の教員研修）においても、昨年度はキャリア教育をテーマとして取り上げました。午前の部は、キャリア指導の外部講師を務めていただいている榎本先生に、「キャリア教育とキャリア支援」との演題で基調講演を行つていただきました。加えて、就職に関する本学学生の状況と学生支援の課題について、長柄宜光就職課長に現状報告をしていただきました。午後の部は分科会形式とし、設定

学生指導・支援の今後の取り組み



工学部学生指導委員長

後援会の皆様には、日頃から多角的なご支援をいただきありがとうございます。大学は新入生を迎える今年度のスタートを切って以来、春のさまざまな行事を経てここにきてようやくキャンパスも落ち着きを取り戻しました。今年は看護学部の学生諸君が入学し、工学部のある大前キャンパスも、ひときわ活気にあふれています。感じがいたします。

会は、学生の指導に関する事項を全般的に扱い、教育環境の充実を図ることを目的とし、これまで学生の生活・学習指導、カウンセリング、健康管理などに取り組んできました。クラブ活動、大学祭や球技大会などの活性化支援、また特待生の選考や留学生経済支援、教育相談会の実施など学生の就学支援・指導への取り組みを行つてきました。こうした学生指導・支援に関

する実績を踏まえ、今年度度は四つの活動方針を立て取り組んでいくことになります。一つ目は、学生の課外活動に関することです。部活動やサークル活動は友人との交流を深め、人間としての幅を大きく広げることにつながります。教職員によるクラブ部長会議も活用しながらサポートを行っていきたいと考えます。近年わたらせ祭や球技大会への学生参加がやや低調となり、よくなり参加しやすい仕組みづくりも今後の課題の一つと捉えています。

二つ目は、生活指導に関するものです。充実した大学生活を送るうえで、また大学は本来自らの意志で学ぶために入学し、将来の夢に向かって勉学していく場ですが、意志半ばで迷い、悩み、またさまざまなお誘惑に負け、勉学がおろそかになり就学が困難になる学生が多いことも事実です。クラス担任制を充実させ教職員一丸となりこのような学生の指導に取り組み、休学・単学者の減少に努めることが必要と考えます。毎年実施している教育相談会もそのための有意義なものと考えています。

四つ目は、本学大前キャンパスの環境整備です。現在キャンパス内の全面禁煙に向けて済付を進めていま

そのためには適正な生活リズムや食事、運動などについての日常の心がけが必要とらえ、委員会は関係機関と連携して健康づくり、体力づくりの支援を強化していくます。またカウンセリングに関する過去三年間の実態として昨年「学生相談室活動報告」をまとめ、今年度からタイムリーな学生指導上の情報提供として単年度での発行を予定しています。

め、進めていくことになります。またキャンパス内の安全で利便性の高い環境づくり、人と車の動線の整備にも協力していきたいと考えています。

最後に、学生指導委員会は、学生支援課、カウンセラー、保健室などの連携を強化し、学生のよりよい教育環境づくりに向けて全努力でサポートしていくことを考えます。今後とも、ご理解とご協力をお願いたい

平成25年度 足利工業大学後援会収支決算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

収入の部

単位 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B)-(A)	摘要
前年度繰越金	6,375,053	6,375,053	0	
会 費	24,700,000	24,925,000	225,000	@25,000円
雜 収 入	70,000	77,698	7,698	学生災害傷害保険移動返還金
計	31,145,053	31,377,751	232,698	

支 出 の 部

单位 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B)-(A)	摘要
1 運 営 費	2,700,000	2,184,895	△ 515,105	
会 議 費	1,250,000	1,069,770	△ 180,230	後援会総会・理事会等諸費用
事 務 費	300,000	240,000	△ 60,000	事務費一般
印 刷 費	250,000	170,625	△ 79,375	後援会会報印刷代・封筒代
通 信 費	900,000	704,500	△ 195,500	後援会総会通知発送費・後援会会報発送費・「AIT通信」発送費
2 学 生 助 成 費	22,300,000	18,125,855	△ 4,174,145	
学生研究補助費	900,000	215,080	△ 684,920	卒業研究等補助
クラブ援助費	10,000,000	8,664,530	△ 1,335,470	クラブ活動援助費
学生活動費	6,200,000	5,440,685	△ 759,315	学生自治会援助金・大学祭援助・球技大会援助
入学・卒業記念費	2,600,000	2,557,860	△ 42,140	入学記念集合写真費・卒業記念アルバム作成費
海外研修費	1,500,000	240,000	△ 1,260,000	UIS短期留学参加学生(6名)への支援費
保 険 料	1,100,000	1,007,700	△ 92,300	学生災害傷害保険料
3 教 育 助 成 費	5,100,000	3,106,577	△ 1,993,423	
就職推進補助費	2,000,000	1,570,121	△ 429,879	保護者のための就職ガイドブック350部・資格支援補助 他
厚生事業費	700,000	413,606	△ 286,394	教員との懇談会費用
教育環境援助費	1,500,000	661,250	△ 838,750	紅白幕一式
その他の厚生費	900,000	461,600	△ 438,400	朝食補助・情報処理技術者試験補助 他
4 慶弔費	700,000	135,000	△ 565,000	入学式献花代・香典 他
5 雜 費	100,000	0	△ 100,000	
6 予 備 費	245,053	0	△ 245,053	
7 次年度繰越金	0	7,825,424	7,825,424	
計	31,145,053	31,377,751	232,698	

上記のとおり相違ありません。

平成26年3月31日

足利工業大学後援会 会計 菊地 玲子

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

平成26年5月24日

足利工業大学後援会 監事 柿沼淑江
監事 川崎浩司



は養護教諭1種免許状を取得できる栃木県内唯一の大手です。児童・生徒の抱える健康問題の多様化が社会問題となつて、今日、本学の卒業生が栃木県をはじめとする近隣の学校現場で養護教諭として活躍する日が来ることを楽しみにしています。

近年、看護学部を持つ大学の数は増加の一途を辿っています。そのような状況の中で開設を迎えた本学部の発展の如何は、工学部とどのように教育連携し、どのように融和して、他大学との差別化を図るかにあります。現行カリキュラムには、看護師に必要な医療機器の安全管理・安全使用に必要な基礎知識・技術を習得するための教科目が設定されていますが、工学部に併設の看護学部ならではの更なる特色を模索していくことが、本学部の大きな課題と言えます。

後援会の皆様には、看護学部の概要をご理解の上、更なるご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

平成26年度 足利工業大学後援会役員名簿

	役 職	氏 名	所 在 市	学生所属学科・学系	学 年
1	会 長	中 山 浩	太 田 市	機械・電気工	4 年
2	副 会 長	影 山 光 男	佐 野 市	建築・社会基盤	4 年
3	副 会 長	菊 地 玲 子	足 利 市	情報システムデザイン	4 年
4	副 会 長	川 崎 浩 司	さ い た ま 市	自然エネルギー・環境	3 年
5	会 計	柿 沼 淑 江	桐 生 市	建築・社会基盤	3 年
6	監 事	大 澤 秀 也	足 利 市	自然エネルギー・環境	3 年
7	監 事	水 原 智 華 子	前 橋 市	機械・電気工	2 年
8	理 事	小 沼 久 美 子	足 利 市	自然エネルギー・環境	4 年
9	理 事	青 木 愛 子	佐 野 市	生命システムデザイン	4 年
10	理 事	今 泉 文 子	足 利 市	建築・社会基盤	4 年
11	理 事	片 柳 明	佐 野 市	機械・電気工	3 年
12	理 事	大 関 一 雄	芳 賀 郡	建築・社会基盤	3 年
13	理 事	久 力 正 通	長 岡 市	建築・社会基盤	3 年
14	理 事	石 井 文 子	足 利 市	情報システムデザイン	2 年
15	理 事	大 貫 淳 子	足 利 市	機械・電気工	2 年
16	理 事	仁 木 薫	足 利 市	機械・電気工	2 年
17	理 事	根 岸 麻 奈 美	足 利 市	建築・社会基盤	2 年
18	新 理 事	柳 田 直	足 利 市	生命システムデザイン	1 年
19	新 理 事	阿 由 葉 京 子	足 利 市	情報システムデザイン	1 年
20	新 理 事	館 野 多 恵 子	佐 野 市	情報システムデザイン	1 年
21	新 理 事	飯 塚 典 子	佐 野 市	機械・電気工	1 年
22	新 理 事	石 井 こと 江	太 田 市	機械・電気工	1 年
23	新 理 事	矢 菅 多 加 代	足 利 市	建築・社会基盤	1 年
24	新 理 事	中 里 裕	足 利 市	看護	1 年
25	新 理 事	村 上 喜 美 香	足 利 市	看護	1 年
26	顧 問	萩 原 雄 司	桐 生 市		

平成26年度 足利工業大学後援会予算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部

(单位 円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	摘要
繰 越 金	7,825,424	6,375,053	1,450,371	
会 費	24,850,000	24,700,000	150,000	@25,000円
雜 収 入	60,000	70,000	△ 10,000	学生災害傷害保険移動返還金
計	32,735,424	31,145,053	1,590,371	

支 出 の 部

(单位 田)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	摘 要
1 運 営 費	2,600,000	2,700,000	△ 100,000	
会 議 費	1,300,000	1,250,000	50,000	後援会総会・理事会等諸費用
事 務 費	300,000	300,000	0	事務費一般
印 刷 費	250,000	250,000	0	後援会会報印刷代 他
通 信 費	750,000	900,000	△ 150,000	後援会総会通知発送費・後援会会報発送費・「AIT通信」発送費 他
2 学 生 助 成 費	22,700,000	22,300,000	400,000	
学生研究補助費	900,000	900,000	0	卒業研究等補助
クラブ援助費	10,000,000	10,000,000	0	クラブ活動援助費
学生活動費	6,200,000	6,200,000	0	学生自治会援助金・大学祭援助・球技大会援助
入学・卒業記念費	2,700,000	2,600,000	100,000	入学記念集合写真費・卒業生記念アルバム作成費
海外研修費	1,500,000	1,500,000	0	学生海外研修補助
保 険 料	1,400,000	1,100,000	300,000	学生災害傷害保険料・Will(看護学生用)
3 教 育 助 成 費	6,400,000	5,100,000	1,300,000	
就職推進補助費	2,000,000	2,000,000	0	就職関連費用
厚生事業費	700,000	700,000	0	教員との懇談会費用
教育環境援助費	2,800,000	1,500,000	1,300,000	学内環境設備費
その他の厚生費	900,000	900,000	0	朝食補助・情報処理技術者試験補助 他
4 慶弔費	700,000	700,000	0	入学式献花代・香典 他
5 雜 費	100,000	100,000	0	
6 予 備 費	235,424	245,053	△ 9,629	
計	32,735,424	31,145,053	1,590,371	

去る六月十四日(土)に平成二十六年度後援会総会を開催いたしました。七十四名の会員の方にご出席いただきました。ありがとうございました。ご都合により、ご出席いただけなかつた方や、また、疑問・質問やご要望などがおありの方は、後援会事務局の学生支援課(TEL〇二八四一六二一〇九五〇)及び会計課(TEL〇二八四一六二一〇八一〇)へご遠慮なくお問い合わせください。

総会から早いもので二か月立秋近くの秋というのは暦の上だけという、盛夏の只中に身をおいている頃になります。皆様に会報をお届けできるのは、が過ぎようとしています。皆様に会報をお届けできるのは、立秋近くの秋というのは暦の上だけという、盛夏の只中に身をおいている頃になります。

大学は夏休みに入り、エヌスコ学校や教員免許更新講習など学外からのお客様を迎えた行事が開催されます。九月七日には工学部教育相談会を行いますので、工学部会員の皆様のご参加をお待ちしております。

また、九月八日～十一日には後援会の企画によるグアム研修旅行が実施されます。学生十名が参加する予定です。帰国後には報告書を作成いたしますので、ご希望の方は、後援会事務局までご連絡ください。

まだまだ暑い日が続きますがないぞご自愛ください。